



平成29年度SSH生徒研究発表会 審査委員長賞受賞!!

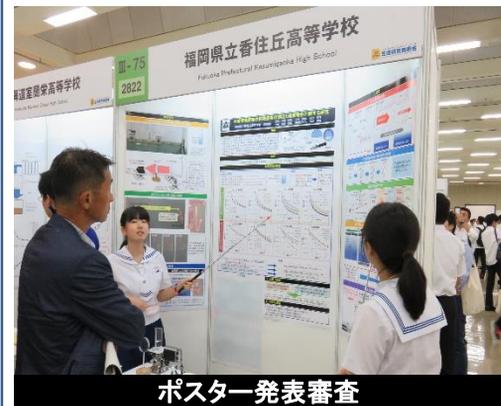
平成29年8月9・10日、神戸国際展示場でSSH生徒研究発表会が開催され、審査委員長賞を受賞し、2年連続入賞しました。

この発表会は文部科学省と科学技術振興機構(JST)が主催するSSH指定校の課題研究発表会で、今年も発表者・見学者等4,000名が参加する国内最大の発表会になりました。



審査委員長賞受賞(2017.8.10 神戸国際展示場)

発表会の前日には、海外招聘校25校の歓迎レセプションが開催されました。本校は、ドイツと中国から来日した各3校の歓迎を担当しました。開始前はコミュニケーションが上手くできるか心配していましたが、実際に会話を始めるとすぐに打ち解けることができました。



ポスター発表審査

発表会1日目は、理化学研究所多細胞システム形成研究センターの高橋政代先生による基調講演「iPS細胞で明日を作ろう」の後、SSH指定校203校と海外招聘校25校がポスター発表を行いました。発表ブースにお越しいただいた多くの先生方に高く評価して頂き、最終日に口頭発表を行う代表校6校に選出されました。



代表校発表での質疑応答

今回、SSH指定校203校の発表会で、2年連続で代表校に選出され入賞できたことは、発表会に参加した生徒のみならず校内で様々な課題研究を行っている生徒諸君にも、大きな希望を与えることができました。

また、今年の全体司会は本校の放送部が担当し、生徒研究発表会の成功に貢献することができました。



全体司会(放送部)



第32回中国青少年科学技術 イノベーションコンテスト

平成29年8月14～19日、中華人民共和国杭州白馬湖国際会展中心(浙江省杭州市)にて、第32回中国青少年科学技術イノベーションコンテスト(CASTIC)が開催されました。日本代表としてEngineering Science領域に本校物理部、Zoology領域に宮崎県立宮崎北高校生物部の2チームが参加しました。本大会は、中国国内最大の青少年科学コンテストで、中国国内からは小中高校生350テーマ、海外招聘は19か国35テーマ、インテルISEF受賞から5テーマ等々とても大きな大会でした。会場には様々な国や地域から青少年が集まっているため、コミュニケーションは主に英語で行い、改めて「伝えあうことのできる英語スキル」の重要性を実感しました。研究内容は各国各テーマともとてもレベルが高く、何よりもScience、TechnologyやEngineeringへの熱い情熱を感じました。残念ながら日本代表はグランプリ獲得とはなりませんでしたが、貴重な経験となりました。グランプリを獲得したチェコ、ハンガリー、ドイツ、スウェーデン、トルコの各研究チームはとても素晴らしく、自分たちの研究内容を熱く語る姿がとても印象的でした。来年は重慶市で開催予定です。



大阪府立大手前高等学校 第9回マスフェスタに参加

平成29年8月26日(土)、関西学院大学で第9回マスフェスタ(全国数学生徒研究発表会)が開催され、数学部の3年生4名が参加しました。

今回2回目の参加となるこの発表会は、全国のSSH指定校から数学に関する課題研究のみを集めて実施されたものです。生徒同士の交流はもちろん、約20名もの数学を専門とする大学の先生から指導・助言をいただくことができました。

今回の発表会で3年生は引退となります。今後は2年生が研究を引き継ぎ、内容を更に発展させ、来年度の研究発表に向けてより一層努力してくれることでしょう。

